

平成 18 年 2 月期 第 1 四半期財務・業績の概況（連結）

平成 17 年 6 月 28 日

会社名 株式会社サンワド

(JASDAQ・コード番号：7430)

(URL <http://www.sanwado.com>)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 中村 勝弘

TEL:(017)782 3200

責任者役職・氏名 常務取締役管理本部長 葛西 昭蔵

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 税金費用の計算及び影響額が僅少なものについては、簡便な方法を採用しております。
 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成 18 年 2 月期第 1 四半期財務・業績の概況（平成 17 年 2 月 21 日 ~ 平成 17 年 5 月 20 日）

第 1 四半期財務・業績の概況（連結）について、売上高以外は当連結会計年度より作成しておりますので、前年同四半期における数値及び対前年同四半期増減率は記載しておりません

(1) 経営成績（連結）の進捗状況 (百万円未満切捨表示)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年2月期第1四半期	7,000	(6.1)	5	()	10	()	2	()
17年2月期第1四半期	7,453	()	()	()	()	()	()	()
(参考)17年2月期	30,717		89		101		51	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
18年2月期第1四半期	0	38		
17年2月期第1四半期				
(参考)17年2月期	9	81		

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当第 1 四半期における景気は緩やかな回復基調を保っているものの、地場における個人消費は依然として足踏み状態が続き、業態を超えた厳しい競争を展開しています。加えて今年は 20 年来の豪雪で雪解けが遅れ、夏タイヤ、園芸、自転車等春物商品に大きな影響を受けました。4 月中旬からは活気を取り戻しましたが前半の落込みをカバーできず、第 1 四半期の売上高は前年同期比 6.1% 減収の 7,000 百万円となりました。その中で昨年 7 月にオープンしたスーパーホームセンター柏店の効果により、DIY・資材部門の売上が伸び、粗利改善に一定の成果を上げることができました。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年2月期第1四半期	19,648	4,310	21.9	816 34
17年2月期第1四半期				
(参考)17年2月期	19,561	4,344	22.2	822 95

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
18年2月期第1四半期	103	32	7	668
17年2月期第1四半期				
(参考)17年2月期	344	168	642	746

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

当第1四半期における総資産は19,648百万円となり、前期末比86百万円の増加となりました。また、株主資本は前期末比34百万円減少となり、株主資本比率は21.9%となりました。

(連結キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期におけるキャッシュ・フローの状況は、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、103百万円となりました。

主にたな卸資産の増加によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果獲得した資金は、32百万円となりました。

主に保証金・敷金の返金による収入によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、7百万円となりました。

主に長期借入金の返済によるものであります。

以上の結果、現金及び現金同等物の期末残高は、前期末に比較して77百万円減少し、668百万円となりました。

[参 考]

[業績予想に関する定性的情報等]

平成17年4月12日の決算発表時に公表した中間期及び通期の業績予想について見直しはしておりません。

添付資料

(要約) 四半期連結貸借対照表

(要約) 四半期連結損益計算書など

以 上

1.(要約)四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

科 目	当四半期 (平成18年2期第1四半期末)	(参考) 平成17年2月期
	金 額	金 額
(資産の部)		
流動資産		
現金及び預金	698,390	772,729
受取手形及び売掛金	396,430	341,430
たな卸資産	5,323,837	5,111,211
その他	265,965	262,977
流動資産合計	6,684,624	6,488,349
固定資産		
有形固定資産	8,252,925	8,308,064
無形固定資産	24,125	24,204
投資その他の資産	4,687,193	4,741,280
固定資産合計	12,964,243	13,073,549
資産合計	19,648,868	19,561,898
(負債の部)		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,797,047	3,762,254
短期借入金	3,840,000	3,430,000
一年内返済予定長期借入金	2,151,160	2,161,160
一年内償還予定社債	300,000	300,000
その他	656,224	592,312
流動負債合計	10,744,432	10,245,726
固定負債		
社債	1,600,000	1,730,000
長期借入金	2,820,560	3,071,900
その他	173,847	169,352
固定負債合計	4,594,407	4,971,252
負債合計	15,338,839	15,216,979
(資本の部)		
資本金	704,025	704,025
資本剰余金	747,805	747,805
利益剰余金	2,863,636	2,888,460
その他有価証券評価差額金	5,307	4,757
自己株式	128	128
資本合計	4,310,029	4,344,919
負債及び資本合計	19,648,868	19,561,898

2 . (要約) 四半期連結損益計算書

(単位 : 千円)

科 目	当四半期 (平成 18 年 2 期第 1 四半期)	(参考) 平成 17 年 2 月期
	金 額	金 額
売上高	7,000,319	30,717,057
売上原価	5,478,612	24,359,009
売上総利益	1,521,707	6,358,047
販売費及び一般管理費	1,516,055	6,268,332
営業利益	5,652	89,715
営業外収益	36,385	178,031
営業外費用	31,317	166,260
経常利益	10,720	101,485
特別利益	1,529	17,367
特別損失	1,246	114,203
税金等調整前四半期 (当期) 純利益	11,004	4,649
税金費用	8,980	55,976
四半期 (当期) 純利益	2,023	
四半期 (当期) 純損失		51,326

3.(要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

区 分	当四半期	(参考)
	(平成18年2期第1四半期)	平成17年2月期
	金額	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期(当期)純利益	11,004	4,649
減価償却費	60,489	266,921
売上債権の増加額	54,999	34,473
たな卸資産の増加額	212,625	144,696
仕入債務の増加額(減少額)	34,793	246,346
その他	94,481	162,220
小 計	66,856	8,274
法人税等の支払額	12,777	253,399
その他	23,451	99,357
営業活動によるキャッシュ・フロー	103,085	344,483
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の売却による収入	8	187,101
有形固定資産の取得による支出	8,137	153,425
投資有価証券の取得による支出	2,549	12,339
投資有価証券の売却による収入	3,756	79,445
保証金・敷金の差入による支出	26,689	203,352
保証金・敷金の返金による収入	67,391	235,907
その他	859	35,403
投資活動によるキャッシュ・フロー	32,920	168,740
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,000,000	3,870,000
短期借入金返済による支出	590,000	3,888,000
長期借入れによる収入	550,000	2,655,000
長期借入金返済による支出	811,340	3,146,192
社債の発行による収入		1,274,700
社債の償還による支出	130,000	70,000
配当金の支払額	26,398	52,787
財務活動によるキャッシュ・フロー	7,738	642,720
現金及び現金同等物に係る換算差額		21
現金及び現金同等物の増加額	77,903	466,998
現金及び現金同等物の期首残高	746,443	279,444
現金及び現金同等物の期末残高	668,539	746,443

4. 販売の状況

当四半期における事業の種類別セグメント及び部門別・商品別販売実績は次のとおりであります。

(単位：千円、%)

		当四半期 (平成18年2期第1四半期)		(参考) 平成17年2月期	
		金額	構成比	金額	構成比
小売事業	ホームセンター部門				
	カー・レジャー用品	839,935	12.0	4,072,767	13.3
	リビング用品	2,311,313	33.0	10,531,090	34.3
	D I Y用品	1,607,455	23.0	6,252,004	20.3
	カルチャー・ホビー用品	550,209	7.8	2,430,830	7.9
	小計	5,308,914	75.8	23,286,693	75.8
	専門店部門				
	家電	323,639	4.6	1,715,992	5.6
	カー用品	464,770	6.6	1,962,313	6.4
	ブランドショップ	320,331	4.6	1,577,311	5.1
業務スーパー	457,886	6.6	1,702,337	5.6	
小計	1,566,628	22.4	6,957,955	22.7	
小売事業計	6,875,542	98.2	30,244,648	98.5	
卸売事業	124,777	1.8	472,409	1.5	
合計	7,000,319	100.0	30,717,057	100.0	

(注) 1. 数量については取扱商品が多岐にわたり数量表示が困難なため記載を省略いたしました。

2. 金額には、消費税等は含まれておりません。

3. ホームセンター部門の商品別の各構成内容は、次のとおりであります。

- (1) カー・レジャー用品(カー用品、自転車、釣用品、スポーツ用品、レジャー用品、衣料・シューズ等)
- (2) リビング用品(日曜雑貨用品、家庭用品、インテリア用品、家電用品、季節催事用品)
- (3) D I Y用品(日曜大工用品、エクステリア用品、園芸用品、作業用品、ペット用品)
- (4) カルチャー・ホビー用品(装身具、文具、玩具、C D、ビデオテープ)

4. 専門店部門の業務スーパーの商品構成内容は、農林水産・畜産物及びその加工食品、冷凍食品等であります。